



福井の名所探訪⑫

越前水仙（福井市・越前町）

越前水仙の発祥地は福井市居倉地区と伝えられており、咲き誇る越前海岸は日本でも数少ない野性の水仙の群生地、その栽培面積は全国一を誇ります。日本海の冬の厳しい寒風に耐えて咲く凛とした清楚な姿は、別名「雪中花」とも呼ばれ、冬の風物詩になっています。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個性性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ① 最善の医療を平等に受ける権利 | ⑧ 健康教育を受ける権利 |
| ② 選択および自己決定する権利 | ⑨ 個人の尊厳を守る権利 |
| ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利 | ⑩ 宗教的支援を受ける権利 |
| ④ 患者様の意思に反する処置・治療 | ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利 |
| ⑤ 十分な説明を受ける権利 | ⑫ より良い環境で治療を受ける権利 |
| ⑥ 情報開示を求める権利 | ⑬ 通信・面会を自由に行う権利 |
| ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利 | ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利 |

すこやか講座



◆今回は、インターネットで話題になっていたエピソードを紹介します。

あるグループホームに入所していた認知症の男性が、自殺をほのめかす言葉を残して外出しました。
後を追った介護士。
引き留めても感情が高ぶるだけなので、雑談をしながら一緒に歩きました。

歩道橋の上で「ここがいいか」という男性に、「いや、もっと他の場所がいいですよ」と返答する介護士。
ビルの屋上に来ると「もっといい場所を探しましょうよ」

そのうちに、男性は当初の目的を忘れ、介護士と散歩をしている気分になりました。

夕暮れ近く、お腹がすいた男性は、目についたハンバーガーショップに入りました。
注文をして、レジの女性に「いくらだ」とポケットから出したのはくしゃくしゃのティッシュペーパー。
介護士は一瞬青ざめました。
他人から間違いを指摘されると、認知症の人は怒ったり、不安定になることがあるからです。

でも、レジの若い女性は落ち着いて笑顔でこう答えました。
「申し訳ありません。当店においては現在、こちらのお札はご利用できなくなっております。」

男性は「そうか。ここではこの金は使えんのか」
とあらためて、ポケットの小銭を取り出しました。

自殺を考える男性の気をそらした介護士の対応も見事ですが、レジの女性のとっさの対応も素晴らしいです。

認知症の6割を占めるといわれているアルツハイマー型認知症は、新しい記憶、大切な記憶がこぼれ落ち、社会生活に支障をきたすようになる病気です。

人間としてのプライドも、自分の能力への不安も抱えたまま病気が進行していきます。
失敗や勘違いがあっても、あからさまに否定せずに誘導していくことが介護の基本となります。



Point

認知症の患者数は2012年に305万人に達し、高齢者人口の約1割が認知症を抱えているといわれています。そして、今後ますます増えていくことが予想されます。認知症の対策は社会全体で取り組んでいかなければならない問題であり、一人一人がこの介護士や、レジの女性のように、認知症の高齢者をフォローできるようになりたいものです。

家族は今…

from M. K



父の場合は

父の様子が変わり始めたのは、81歳になったばかりの頃、平成22年の春。娘の私が40日程入院する事になったのがきっかけだと、母が教えてくれました。原因は、私が心配をかけたせいだと思うと申し訳なかったです。

元気に田畑を一人で切り回していた父、畑仕事は母が手伝い、田んぼは、時期になれば家族全員で作業しますが、普段、私達は勤めているため余り手伝っていませんでした。何から何までおんぶにだっこの状態です。

平成22年はそれでも乗り切りましたが、翌年の春頃から、すこやかシルバー病院に通院し始め、初夏から町内のデイサービスを利用する事になりました。今まで介護保険なんて何のためにあるのかと思っていたのですが、この時から関わるようになり大変助かっています。

家の中は、父に任せきりだった農作業を、一番知っている母が、先頭になって頑張り、家族も手伝ったのですが、父の面倒も見ながらの農作業は、身体の弱い母には大変に無理があったと思います。

父の変った所は、行動が今までとは随分違ってきた事です。

- ①手八丁の父が何をしてもスピードが遅い。 ②動作の途中で止まる。(違う事をしている)
- ③今までの手順を忘れてしまった様子。 ④トイレが上手に出来ない。
- ⑤温厚な性格だったのに怒りっぽくなった。 ⑥昼夜反対の生活になった。(夜起きている)

母も、段々父に対して、きつく当たる様になり、普段でも怒りっぽく、ちょっと目を離すと泣いていたり、精神的に参っている気がしました。この年の冬が一番きつかったです。

平成24年の春、一年経過して父を再診していただき「やはり悪い方に進んでいる。」との事で、薬の変更による様子見と、母の休養のために入院させて頂く事になりました。2～3ヶ月の予定が今となっています。

入院させて頂き、父は落ち着きました。入院前は、トイレの失敗に対し一方的に父を責めましたが、泌尿器科を受診する必要がある状態だったと知り、本当に悪い事をしたと思っています。昼夜反対の生活は、団体行動で生活リズムを取り戻したと思います。

母も自由な時間が増えて、趣味の畑仕事を頑張っています。

今は、病院の先生やスタッフのみなさんのお陰で、1ヶ月2回の外泊訓練中で12月中旬には退院の予定です。

これからも、思い違いなどして父に寂しい思いをさせない様に、家に帰ったら家族全員でもっとしっかり見てあげたいと思っています。

先生、スタッフのみなさん、毎日本当にありがとうございます。まだまだよく分かりきらない症状ですが、これからも宜しくお願いします。



すこやかクラブ

(軽度認知症の方を対象にした活動)

11月16日(金)に、すこやかクラブが開催されました。今回は、ふくい健康の森へ紅葉を見に行ったら、旬菜というレストランでバイキングを楽しみました。当日は快晴で青空の中、気持ちよく散歩しました。また、バイキングではたくさんの料理やスイーツを食べ楽しく過ごしました。



集合!!

デイケア だより

10月 ☆芋掘り・お菓子作り

中庭の畑でさつま芋の収穫を行ないました。昨年より収穫量は少なめですが、今年も立派に実りました!

男性には収穫を、女性には芋の軸取りをお願いしたところ、皆さん快く、そして黙々と協力して下さいました。

さすが、
手際が良い!



今年は、紅あずまと
鳴門金時の
2種類を植えました

おやつ完成



さつま芋おやき



大学いも

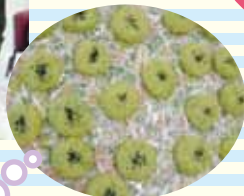


いも蒸しパン



細かく切って...

皮をむいて...



生地を丸めて...

大ぶりな芋は焼きいもにしました。栄養科で調理してもらって入院患者さんにも提供したり、デイケアでお菓子作りをしたりして味わいました。

11月

☆たけふ菊人形。 ◎SK日本歌劇団鑑賞

秋晴れのある日、OSK日本歌劇団のグランドレビュー 2012 を鑑賞するため、たけふ菊人形へ行ってきました。

迫力あるステージを身を乗り出して観劇している方、後半のショーを観ながら一生懸命拍手を送っている方、普段とはまた違う利用者さんの一面を垣間見ることが出来ました。

鑑賞後は色とりどりの菊人形を眺めて、記念写真を撮りました。



☆つるし柿作り

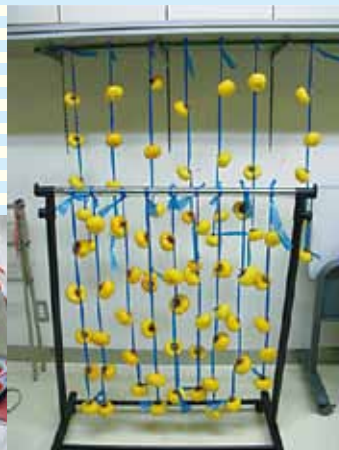
運転スタッフさんから自宅で実ったという、たくさんのおすそ分けがありました。

早速、利用者さんに皮をむいてもらい、つるし柿にしました。

ですが、11月は天候に恵まれず...
ほとんど室内で干していましたが、2週間で完成しました。お味は充分、甘くなっていましたよ!!



これ位なら、
すぐむけるわの



キャスターを活用して、わずかな晴れ間も逃さず、柿も日光浴をしました。



つるし柿完成!

12月

☆ハンドベル演奏会

すこやかクラブと合同で、ハンドベル演奏会を行ないました。こすもすミュージックメイツの4名の皆さんが、素敵な音色を披露して下さいました。

利用者さんたちは、最初は静かに聴き入っておられましたが、徐々に盛り上がり、ハンドベルの演奏に合わせて自ら体験しに来られる方もいらっしゃいました。



☆忘年会

頭を押すと、
鳴るんやわね



がんばーい!!
酒がないと寂しいなあ



おいしいわの

下旬にはデイケア忘年会を開催しました。
巻き寿司やオードブルの他、大根サラダ・豚汁・おは漬けを作りました。ノンアルコールビールで乾杯し、1年を締めくくりました。

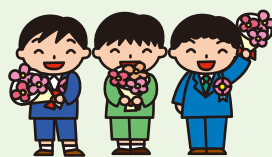
1年をふりかえっての感想を伺うと、『孫が結婚した』『ひ孫が産まれた』等、おめでたい声も聴かれました。『なあもない』とおっしゃる方もおられましたが、全体的には良い1年だったと皆さん口を揃えておっしゃっていました。

今年も、良い1年にしましょうね★

THE! 病棟

すこやか祭

10月24日に院内行事『すこやか祭』がありました。今年も恒例となっている清水保育園の園児の皆さんによる踊りや出し物の発表がありました。園児の発表に感動され涙を流す患者様もおられました。



すこやか祭行事食



「秋を感じるようなお弁当を！」

を合言葉に、目で楽しめるお弁当作りを心掛け、しぐれ蒸しは軟らかく配慮された調理方法で仕上げました。いつにも増して完食された方が多く、スタッフ一同たいへん嬉しく思います。

おしながき

- ・松茸ご飯
- ・ブリとサーモンの刺身
- ・しぐれ蒸し
- ・野菜の炊き合わせ
- ・青菜の菊花和え
- ・柿なます

認知症啓発活動

「認知症を予防するために暮らしの中でできること」と題して、当院主催の講演会が武生商工会館にて、11月17日に開催されました。同講演会には、一般の方や福祉関係者ら計200名が参加されました。



24年度の講演会

『認知症を予防するために
暮らしの中でできること』

講師 / 国立長寿医療研究センター 遠藤 英俊 先生

認知症予防

生活習慣病の治療を・・・

運動は、認知機能の低下を軽減する可能性があります。中でも有酸素運動が良いとされ、具体的には1日30分以上、週3回以上歩きましょう。

脳を刺激するため、趣味の活動や好奇心を持ち続けましょう。相手と言葉のやりとりをする会話を多くしましょう。

認知機能低下の予防には野菜、果物の摂取も大事です。

適量の赤ワインも推奨されています。

これらのことを日々の生活の中で継続していくことが認知症予防につながっていきます。



【聴講された方の感想】

- 予防も日々進歩していると思いますが、認知症にならない為にも、より確実な予防法を教えてくださいました。(60代／一般 女性)
- 地域包括センターや回想法など幅広く勉強できて良かったです。(20代／介護福祉士女性)
- 今後、市町村、地域包括センターの役割は大きいと感じた。訪問先で“待ってました”とばかりに話をされる方が多いが、それもまた認知症の予防をしているのだと考え直した。(30代／介護支援専門員 女性)
- 私は、90歳のせいか、先生のお声は良く聞こえますが、言葉としてききとれない年になったことを痛感しました。(90代／一般 女性)

アンケートにご協力していただいた皆様、有難うございました。

当院では、このような講演会や研修会（一般の方対象・専門職の方対象）を毎年開催しています。機会がありましたら是非ご参加ください。お待ちしております。《介護教育部》

平成24年度満足度調査の結果報告

皆様に満足していただける病院づくりを目指すため、患者様およびご家族の方を対象とした満足度調査を実施させていただきました。調査にご協力していただいた皆様におかれましては、大変貴重なご意見・ご要望をたくさんいただき、誠にありがとうございました。この調査結果を全職員が真摯に受け止め、今後皆様にご満足いただけるような病院づくりを目指し努力してまいります。

つきましては、下記のとおり調査結果をご報告させていただきます。

調査の概要

《調査目的》

患者様およびご家族の方へのサービス向上を目指すため満足度調査を行う

《調査方法》

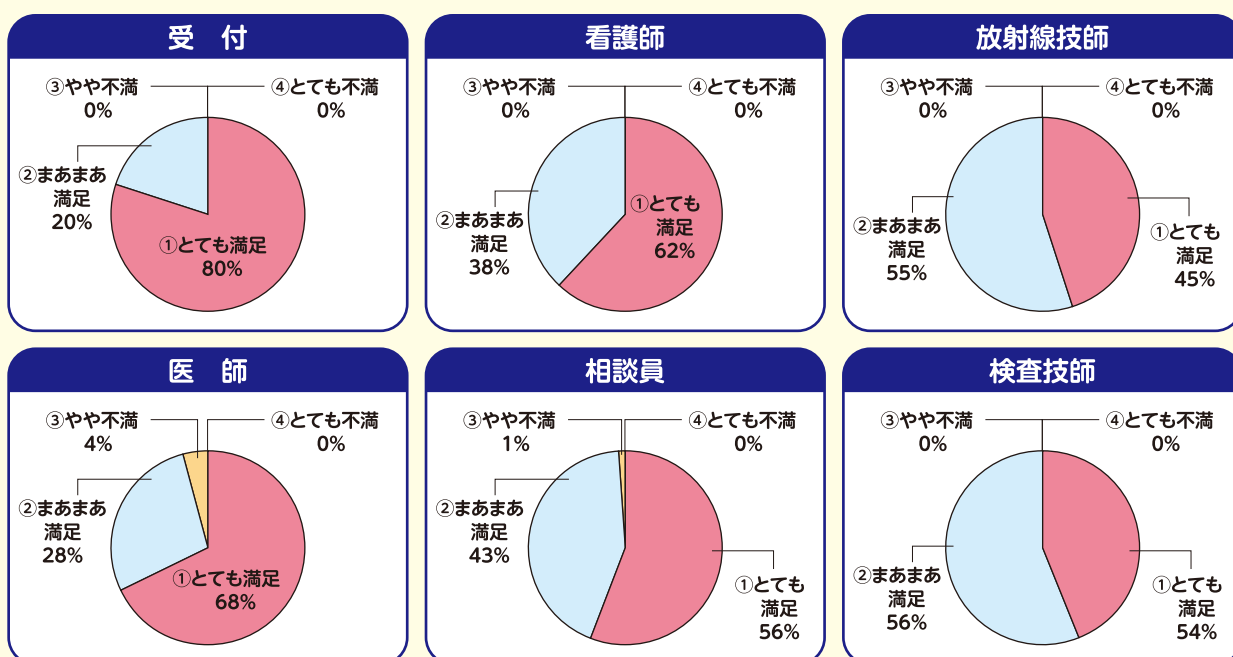
対 象 者： 福井県立すこやかシルバー病院に通院・入院中の患者様とご家族

調査方法： 当院で作成したアンケート用紙を対象者の方に手渡しで配布、調査協力の得られた対象者から用紙を回収して項目ごとに分析

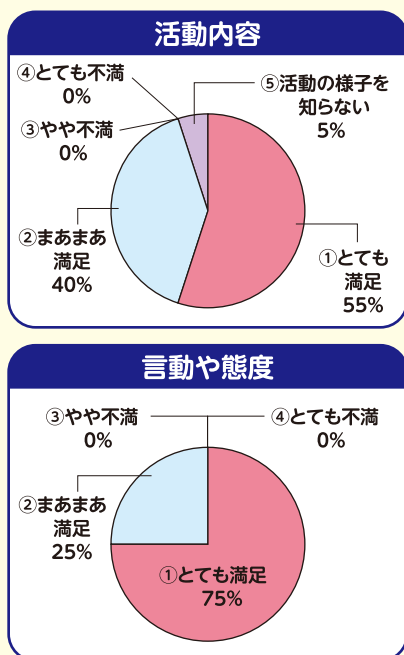
調査期間： 平成24年10月1日～30日

回 収 率： 外来95% デイケア63% 入院62%

〇外来での職員の言動や態度



〇デイケア活動内容と言動や態度



〇入院に関する調査

